

平成24年度第1回鹿沼市入札適正化委員会の概要

- 1 目的 本市が発注する建設工事の入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を高めるとともに、入札に参加しようとし、又は契約の相手方になろうとする者の間の公正な競争を確保する。
- 2 開催日 平成24年8月1日（水） 午後2時から
- 3 開催場所 鹿沼市民文化センター 大会議室
- 4 出席委員
委員長 田島隆雄
委員 貝塚美浩
委員 前橋明朗
- 5 審議対象期間 平成23年12月1日から平成24年5月31日
- 6 対象案件
総数 160件
抽出案件 7件
(内訳) 事後審査型条件付き一般競争入札 7件

議事等の概要

1 報告事項等

(1)発注状況について

事務局から、平成23年12月1日から平成24年5月31日までの発注状況について説明。

(2)指名停止の運用状況について

事務局から、2件の指名停止の運用状況について説明。

(3)談合情報対応状況について

事務局から、審査対象期間内において、談合情報は無かった旨報告。

(4)抽出結果報告

前橋委員から抽出工事を選定した理由について報告。

2 審議事項

(1)「平成23年農業用施設災害復旧事業 501/205 頭首工工事（南端堰）」について

- ・工事箇所 鹿沼市大和田町
- ・経済部農政課発注

(2)「鹿沼市立中央小学校外構工事（第3工区）」について

- ・工事箇所 鹿沼市今宮町
- ・教育委員会事務局教育総務課発注

(3)「鹿沼市立粕尾小学校耐震補強工事」について

- ・工事箇所 鹿沼市下粕尾
- ・都市建設部建築課発注

(4)「鹿沼市消防署栗野分署改築工事（建築工事）」について

- ・工事箇所 鹿沼市口栗野
- ・都市建設部建築課発注

(5)「鹿沼市立栗野第一小学校旧校舎等解体工事」について

- ・工事箇所 鹿沼市口栗野
- ・都市建設部建築課発注

(6)「平成23年度社会資本整備総合交付金事業新鹿沼駅前広場（東口）整備工事その2」について

- ・工事箇所 鹿沼市鳥居跡町
- ・都市建設部土木課発注

(7)「ごみ焼却処理施設1号焼却炉他整備工事」について

- ・工事箇所 鹿沼市上殿町
- ・環境部清掃課発注

3 抽出案件についての主な質疑

委員 「平成23年農業用施設災害復旧事業 501/205 頭首工工事（南端堰）」の「頭首工」とはなにか。また、落札率が高いが、どのようなことが原因と考えているか。

担当課 河川の流水を用水路に引き入れるための施設であり、一般には、安定した水量を確保するための取水堰、取り入れ口、付帯施設及び管理施設から構成されています。

事務局 本入札は、開札前の辞退が6社。また、開札後に落札候補者の辞退が3社あり、当初の落札候補者で決定すれば落札率は低かった。多数の辞退が発生したのは、本工事が災害復旧の工事であり、同時期に県でも同様の災害復旧工事の入札が多数あったため、技術者等の配置が困難になったためではないか。

委員 「鹿沼市立中央小学校外構工事（第3工区）」で、97,030千円の入札額が多いのはなぜか。

事務局 97,030千円の入札額は、本入札の最低制限価格と一致している。最近の傾向として、業者の積算の結果、複数の業者が最低制限価格で入札し、くじ抽選により落札候補者が決定するケースが多い。

委員 「鹿沼市立粕尾小学校耐震補強工事」の落札率が高いが、どのようなことが原因と考えているか。

事務局 建築工事は、土木工事などとは異なり諸経費率が低いため、落札率が高くなっていると思われる。

委員 「平成23年度社会資本整備総合交付金事業新鹿沼駅前広場（東口）整備工事その2」で19社中18社が失格になっているが、どのようなことが原因と考えているか。

事務局 本入札の最低制限価格は20,690千円であるが、失格した18社の入札額は20,680千円だった。「鹿沼市立中央小学校外構工事（第3工区）」と同様に、多数の業者は最低制限価格付近で入札したが、端数処理で10千円の誤差が発生したと思われる。

委員 「ごみ焼却処理施設 1 号焼却炉他整備工事」の工種は清掃施設工事となっているが、対象業者は何社あるか。また、地域区分を国内にしている理由はなにか。

事務局 対象業者数は、県内で 2 社、県外で 21 社の計 23 社である。鹿沼市事後審査型条件付き一般競争入札実施基準により、入札参加可能者数を確保するために、地域区分を国内とした。

4 閉 会 午後 3 時 5 0 分